

# ブロック塀の補助制度

## あなたのブロック塀は安全ですか？

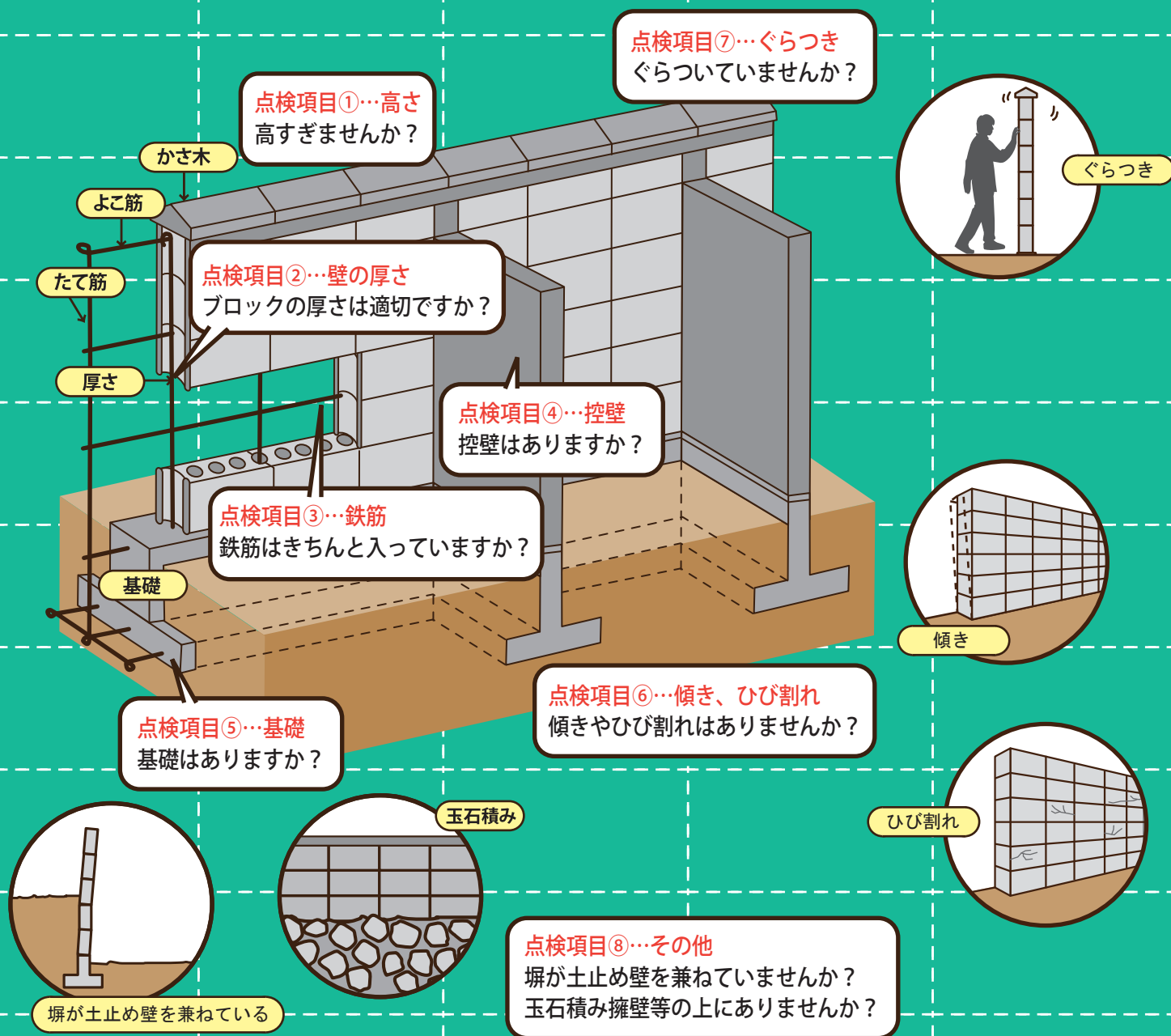
平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震（M6.1）ではブロック塀等が倒壊し、改めて基準を満たさないブロック塀等の危険が認識されたところです。

ブロック塀の安全性の確保は所有者の責任になります。ブロック塀等の耐震対策を行いましょう。大阪府内の市町村では、ブロック塀等除却の補助制度も設けていますのでご活用ください。

### まずは点検！

ブロック塀には、法律で定められた基準があります。

下図の点検項目（①～⑧）について、裏面の点検表を参考に実施してください。



### 補助制度

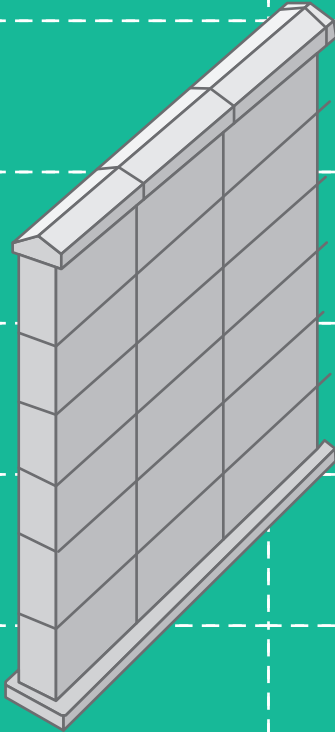
道路沿いにあるブロック塀等については、除却の補助制度を設けています。補助の条件や内容、金額はお住まいの市町村で異なりますので、まずは担当窓口へご相談ください。

▶ 点検表

8項目のうち、1つでも不適合があれば、ブロック塀の安全対策が必要と考えられます。建築士などの専門家にご相談ください。

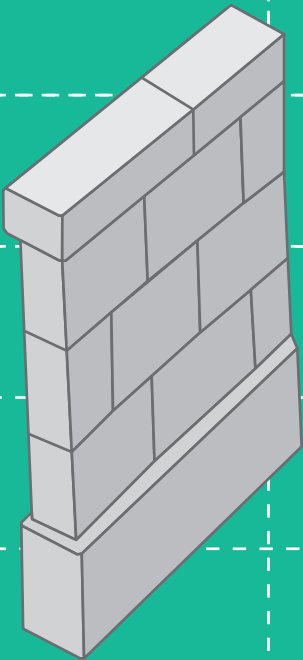
※わからない場合は不適合にチェックしてください

▶ コンクリートブロック塀の場合



点検項目		点検内容	点検結果	
			適合	不適合
①	高さ	2.2m以下	はい	いいえ
②	壁の厚さ	高さ2mを超える塀で15cm以上	はい	いいえ
		高さ2m以下の塀で10cm以上	はい	いいえ
③	鉄筋	壁内に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm以下の間隔で入っており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされている	はい	いいえ
④	控壁 (高さ1.2mを超える時)	塀の長さ3.4m以下ごとに、直径9mm以上の鉄筋が入った控壁が塀の高さの1/5以上突出してある	はい	いいえ
⑤	基礎 (高さ1.2mを超える時)	丈が35cm以上で根入れ深さが30cm以上の鉄筋コンクリート造の基礎がある	はい	いいえ
⑥	傾き、ひび割れ	全体的に傾いていない、1mm以上のひび割れがない	はい	いいえ
⑦	ぐらつき	人の力でぐらつかない	はい	いいえ
⑧	その他	塀が土止め壁を兼ねていない、玉石積み擁壁等の上でない	はい	いいえ

▶ 組積造の場合（鉄筋が入っていないコンクリートブロック塀を含む）



点検項目		点検内容	点検結果	
			適合	不適合
①	高さ	1.2m以下	はい	いいえ
②	壁の厚さ	各部分の厚さがその部分から壁頂までの垂直距離の1/10以上ある	はい	いいえ
③	鉄筋	—	—	—
④	控壁	塀の長さ4m以下ごとに壁面からその部分の②の1.5倍以上突出している、又は②が必要寸法の1.5倍以上ある	はい	いいえ
⑤	基礎	根入れ深さが20cm以上ある	はい	いいえ
⑥	傾き、ひび割れ	全体的に傾いていない、1mm以上のひび割れがない	はい	いいえ
⑦	ぐらつき	人の力でぐらつかない	はい	いいえ
⑧	その他	塀が土止め壁を兼ねていない、玉石積み擁壁等の上でない	はい	いいえ

住まいの耐震対策

家の周辺の安全対策と合わせて、家具固定や住宅の耐震改修など住まいの耐震対策を行きましょう。

大阪府内の市町村では、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅を対象に、耐震改修工事費の補助制度を設けています。

住まいの耐震対策について、詳しくはホームページをご覧ください。

大阪府 耐震推進



大阪建築物震災対策推進協議会のHP

